

統合物質創製化学推進事業



第4回統合物質シンポジウム

日時：平成25年10月31日（木）12：30～11月1日（金）15：00

場所：北海道大学創成科学研究棟5F大会議室および4Fセミナー室（B・C）

スコープ：ダイナミックに機能する統合物質の創製

プログラム

1日目

- 12：30-12：40 開会の辞
- 12：40-13：10 研究報告 九州大学 永島英夫教授
「鉄分子触媒設計」
- 13：10-13：40 研究報告 京都大学 中村正治教授
「鉄触媒による炭素-炭素および炭素-ヘテロ 元素結合生成反応の開発」
- 13：40-14：10 研究報告 北海道大学 長谷川淳也教授
「二官能性ポルフィリン触媒における二酸化炭素固定化メカニズム」
(20分休憩)
- 14：30-15：20 特別講演 東京大学 金井 求教授
「触媒にどこまでできるのか」
- 15：20-15：50 研究報告 九州大学 徳永 信教授
「キラル相間移動触媒を用いたエステルの不斉加水分解反応」
- 15：50-16：20 研究報告 北海道大学 小山 靖人准教授
「マクロサイクル触媒システム：輪成分の移動に伴う高分子軸上での効率的な触媒反応」
- 16：20-17：10 ショート講演
- 17：20-18：40 ポスター発表（4階セミナー室B・C）
- 19：00-20：30 懇親会

2日目

- 9：00-9：30 研究報告 名古屋大学 中寛史助教
「アルコールの化学変換のための触媒開発」

- 9 : 30-10 : 00 研究報告 九州大学 田中宏昌研究員
「Non-innocent ピンサー型配位子を有するイリジウム錯体とアンモニアの反応に関する理論的研究」
- 10 : 00-10 : 30 研究報告 名古屋大学 菱川明栄教授
「数サイクル強レーザーパルスによる超高速反応イメージング」
- (20分休憩)
- 10 : 50-11 : 20 研究報告 京都大学 若宮淳志准教授
「有機色素材料開発：分子内 B-N 配位結合を利用した電子構造制御」
- 11 : 20-11 : 50 研究報告 名古屋大学 深澤愛子准教授
「チオフェンの適度な芳香族性を生かした新奇 π 電子系の創製と機能開拓」
- (昼食)
- 13 : 10-14 : 00 特別講演 東京工業大学 細野秀雄教授
「半導体の物質設計と化学反応：ケーススタディ」
- 14 : 00-14 : 30 研究報告 京都大学 正井博和助教
「 ns^2 型発光中心を有するガラス蛍光体の作製」
- 14 : 30-15 : 00 研究報告 北海道大学 上田 渉教授
「複合金属酸化物の局所構造と触媒ダイナミクス」
- 15 : 00-閉会の辞